

# インストール・バージョンアップ Mercury-LAVIS

FCアカウントの「インストール・バージョンアップ」サービスを利用して、最新のプログラムをインストールする手順を解説します。

## 1. プログラムをダウンロードしてインストールします

最新のプログラムを、次の方法でダウンロードしてインストールします。

### ▼ 全体ファイルを保存してインストール

インストールに必要なファイルを全てダウンロードして保存した後、保存したファイルを実行して最新のプログラムをインストールします。

また保存したファイルをDVDやUSBメモリなどにコピーして、他のコンピューターへのインストールに使用することができます。

インストールの手順は、次ページからをご覧ください。

※動作環境については、巻末（4ページ）をご覧ください。

# 1 全体ファイルの保存

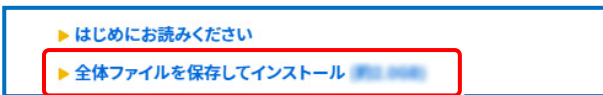
Mercury-LAVIS の全体ファイルをダウンロードして保存します。

※ ご利用の通信環境、時間帯によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。  
そのようなときは、別の時間帯で再度お試しください。ダウンロードを中止しても、また続きから再開されます。

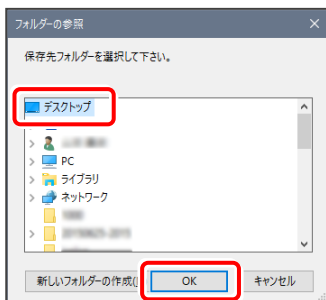
1. 「インストール・バージョンアップ」のページにある Mercury-LAVISの「インストール」ボタンをクリックします。



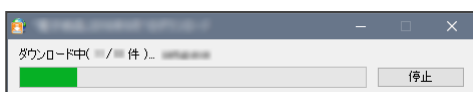
メニューが表示されますので、「全体ファイルを保存してインストール」をクリックします。



2. ダウンロードする全体ファイルの保存先（デスクトップなど）を指定して、[OK] をクリックします。

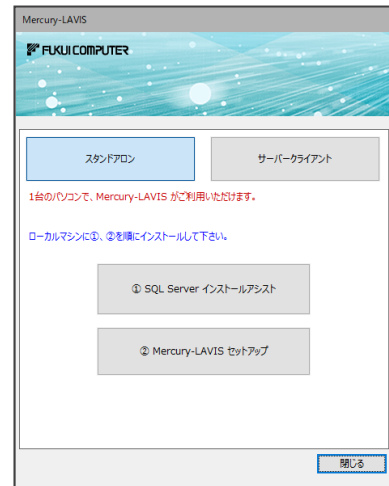


3. ダウンロードが開始されます。



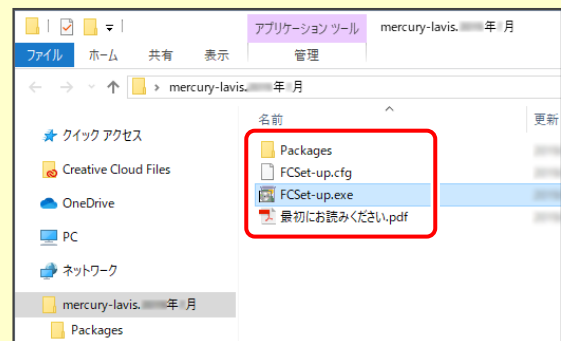
※ ダウンロードを中止する場合は、上記画面で [停止] をクリックしてダウンロードを一時停止してから、右上の [×] ボタンでダウンロードをキャンセルしてください。

4. ダウンロードが完了すると、セットアップ画面が表示されます。



## 他のコンピューターで、ダウンロードした全体ファイルを使用する場合は

[閉じる] をクリックしてセットアップ画面を閉じた後、エクスプローラーなどを利用して、保存した全体ファイルを、DVDやUSBメモリに書き込んでください。



(次ページへ続きます)

## 5. 以降の手順については、以下のリンク先のPDFファイルをご覧ください。

(※ リンクをクリックした際にセキュリティ警告が表示された場合は、「許可」をクリックしてください。)

- 新規インストールの場合 (はじめてMercury-LAVISをインストールする場合)

[「セットアップガイド」の 2ページ～ を参照してください。](#)

- バージョンアップの場合 (2023年6月以前のMercury-LAVISがインストールされている場合)

[「Mercury-LAVIS バージョンアップ編」の 7ページ～ を参照してください。](#)

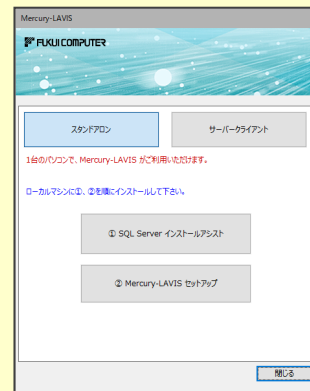
※ リンク先のPDFは、インストールDVDを利用したセットアップ画面で解説しています。

ダウンロードしたセットアップ画面とは異なりますが、セットアップの流れや手順は同じですので、セットアップ画面を置き換えてお読みください。

インストールDVDのセットアップ画面



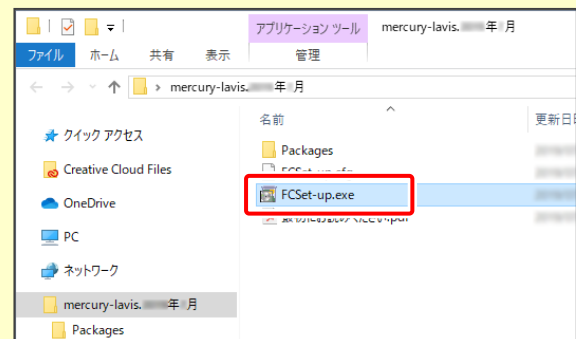
ダウンロードしたセットアップ画面



画面を置き換えて  
お読みください。

### セットアップ画面が表示されていない場合は (DVDやUSBメモリに書き込んだ全体ファイルを利用する場合は)

Mercury-LAVISをインストールするコンピューターで、  
ダウンロードした全体ファイル内にある "FCSet-up.exe"  
を実行して、セットアップ画面を表示してください。



# Mercury-LAVIS 動作環境

対応OS	クライアントOS	Windows 11 バージョン21H2 (64bit) Windows 10 November 2021 Update バージョン21H2 (64bit)										
	サーバOS (※1)	Windows Server 2019(64bit) 以上 Windows Server 2022 (64bit)										
データベース管理ソフト	SQL Server 2022											
CPU	推奨 Core i7 (最低Core i5以上) : intel社製 Celeronでは動作しません											
必要メモリ	推奨8.0GB (最低4.0GB以上)											
必要HDD容量	2.0GB以上											
必要解像度	推奨1920×1080 (最低1366×768以上)											
その他	<p><b>Microsoft Office (Excel) : 書類作成機能</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>バージョン</th> <th>サービスパック</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>365 (32/64bit)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2021 (32/64bit)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2019 (32/64bit)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2016 (32/64bit)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※「ストアアプリ版」のOfficeがインストールされている環境では、一部機能が正常に動作しません。 「デスクトップアプリ版」のOfficeをご利用ください。</p>		バージョン	サービスパック	365 (32/64bit)		2021 (32/64bit)		2019 (32/64bit)		2016 (32/64bit)	
バージョン	サービスパック											
365 (32/64bit)												
2021 (32/64bit)												
2019 (32/64bit)												
2016 (32/64bit)												

(※1) ネットワーク環境は、TCP/IPプロトコルが動作する環境 (100BASE-TX推奨) が必要です。

※ 上記動作環境は、2023年7月時点のものです。動作環境は予告なく変更する場合があります。

※ プログラムのインストール先としてNASのご利用はできません。またデータを直接NASに保存することは推奨できません。

※ データやLANプロテクト等のルーター越えでの運用はプログラム動作保証外です。

ルーター越えの運用とは、場所の離れた拠点 (例えば支店や営業所) から本社に設置しているサーバにあるデータやLANプロテクトのライセンスを取得するケースとなります。

※ 動作確認テストは、動作環境で行っております。

※ ARMプロセッサのWindowsには対応しておりません。

※ 仮想マシン上での動作は保証外です。

※ CPUは、Intel社製 Coreに限ります。

※ ヘルプ機能を利用するためには Microsoft Edge WebView2 ランタイムが必要です。